

平成 26 年 2 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahoiku/

保育おおさか

ブロックで フォローアップ研修開催

保育部会の今年度新規事業として、各ブロックの企画により開催されたスマイルサポーターのフォローアップ研修の概要を紹介します。

北摂ブロック

ブロック内を3地域に分け、それぞれ11月22日、12月9日、1月24日に実施。

大阪府社協・社会貢献支援員が、老人福祉施設が実施する「社会貢献事業」の概要を説明。保育園児がいる母子家庭への支援事例の紹介や生活困窮家庭の事例検討などを行いました。

北大阪ブロック

1月22日に開催。地域貢献事業の意義や、スマイルサポーターの役割について振り返り、大阪府社協・社会貢献支援員が、老人福祉施設が実施する「社会貢献事業」の概要を説明。また交野市社協事務局次長の寺島祐理子氏が、交野市地域貢献連絡会の取り組みを紹介しました。

河内ブロック

11月29日に、八尾市人権文化ふれあい部次長の吉川貴代氏を招き、「地域分権による暮らしに身近なまちづ

くり」というテーマで開催。

地域貢献事業を推進する上で、地域のさまざまな関係団体との連携や協働ができるよう、八尾市の校区まちづくり協議会の活動を紹介し、八尾市が取り組むまちづくりの仕組みを説明しました。

東大阪市では、12月19日に開催。千葉郁子氏(元・東大阪市保育研究所所長)を招いて、各園での相談・対応事例について検討しました。対応内容について、相談・支援する際のポイントや視点を千葉氏が解説しました。

堺ブロック

平成22年度からフォローアップ研修を実施している堺ブロックは6月26日に、大阪府社協・社会貢献支援員を講師に招き、「地域貢献事業に求められるもの」「事例検討」をテーマに開催されました。

泉州ブロック

第1回は11月2日に、岸和田市家庭児童相談員の徂徠理絵氏が、児童



さまざまな事例で意見交換

虐待やDVの対応を中心に社会資源との連携例について講義。DVに関する事例検討も行いました。

第2回は12月7日に、泉佐野市子ども部部長の八島弘之氏が、相談から社会資源へつなぐ際のポイントを説明。スマイルサポーターが地域のさまざまな相談や悩みを持つ方々への支援をする視点から、高齢者にかかわる事例検討が行われました。

南大阪ブロックでは、2月19日・20日と2回開催されます。

フォローアップ研修は、来年度も各ブロックの企画により実施する予定です。スマイルサポーターの皆様のご参加をお待ちしております。



現在放送中のNHKの連続テレビ小説『ごちそうさん』をたいへん興味深く、毎日欠かさず見えています。

ご存知のとおり、毎回おいしい食べ物が登場。見るたびにわくわくし、感動を覚えています。これを子どもや親に、職員に伝えたい！一緒に共感したい！と切に思います。まさにこのドラマは食育である、と。

先日、「和食」日本人の伝統的な食文化」がユネスコ(国際連合教育科学文化機関)の無形文化遺産に登録されました。とても嬉しいことです。

日本に受け継がれる食文化を子どもたちに伝えていくことは、私たち大人の役目。和食の良さを見直す時です。お母さんやおばあちゃんの家料理、郷土料理やおせちなど季節の行事食、一汁三菜など大切にしたい食文化があふれています。

『ごちそうさん』めい子さんが喜んでもらうため、おいしい食事を作ることに奮闘するのも見どころです。まだご覧になっていない方には、ぜひおすすめします。

(編集委員 H・S)

就業規則は大丈夫？ 変化する規則を知っていますか？

社会保険労務士の本田直子氏による研修会が1月15日に行われ、62人の保育関係者が参加しました。

**就業規則をきちんと
整備し改定しておく**

保育園に限らず、労使間で起こる多くのトラブルは、就業規則や法的手続きの不備によるもの。トラブルを防ぐためにも、定期的



熱心に聞き入る参加者



本田直子氏

に就業規則の改定を行っていくことが重要です。

就業規則は一度しつかりと整備すれば足りるものではなく、保育園の日々の活動の中で変更が生じることは当然で、改定の必要が生じます。実際に紛争が起きた場合、改定やその周知が行われていなければ、変更自体されていないものと判断されます。一度紛争が起きてしまうと、解決に多くの時間と費用がかかります。契約を遵守するという現

代社会の流れに添った対応が求められます。

契約期間を明示することが重要

平成25年4月1日から施行されている無期転換制度は、同一の使用との間で無期労働契約が通算5年を超えて反復更新された場合は、労働者の申し込みににより、無期労働契約（期間の定めのない労働契約）に転換されるといふもの。通算5年の起算は、この制度の施行日（平成25年4月1日）以後に開始する有期労働契約が対象で、すでに施行日前に開始された有期労働契約は5年のカウントに含まれません。

無期転換制度を適用しない場合の雇止めは、更新する際の契約書に、残りの契約期間に合わせて「更新回数〇回」と明示し、労働

者が残りの期間を認識できるようにすることが重要です。契約最終年度に「今回で最後です」と念を押すことです。雇止めを同意しない場合は採用に至らない、

あるいは更新のための契約締結ができないとし、契約終了となることもやむを得ないこととなります。研修では、パパ・ママ育児プラス、障害者雇用率制

度、調査研究委員会作成の「入退職管理システム」についても、初めての参加者にもわかりやすいように説明されました。（調査研究委員会T・K）

制度が変わっても 子どもたちの可能性信じ 関わることに変わりなし

保育部会 新年互礼会

1月21日、シティプラザ大阪「旬」で開催された互礼会には151人が参加。浦野靖人衆議院議員、永野孝男大阪府会議員のほか、大阪府、堺市、高槻市、東大阪市の行政の方々にもご臨席いただきました。



永野治男部会長

永野治男 保育部会長 は、「昨年は規制改革会議で社会福祉法人について議論され、情報開示が求められるようになりました。子ども・子育て支援新制度について、認定こども園への移行が保育園として残るのか選択しなければなりません。部会として細やかな情報提供を行ってまいります。制度が変わっていく中でも、私たちは子どもたちの可能性を信じ、関わって

いくことには変わりはありません」と開会挨拶。続いて「育児相談員」の認定交付式が行われ、今年211人の方が認定を受け、せっつ保育園（摂津市）の福永有希さんが代表して受領されました。今後の活躍を期待しています。



「育児相談員」の認定交付式

少人数の特性生かした アットホームな環境

目標もった運動あそびで
チャレンジ精神と達成感

豊中市

ひかり保育園



できたよ！やった～♪

その他、特に運動あそびに力を入れておられます。年齢や段階に応じて、はし

す。また、少人数の特性を生かして、個々に目を配り、個性に寄り添うことができ

ます。保育方針は、自分も友だちも大切にし、一人ひとり個性を伸ばしつつ意欲、やる気を育てます。



クリスマス会では「オペレッタ」、トーンチャイムなどに挑戦！

また年長組は、就学するまでに定期的に近隣の保育園に訪問したりしながら交流を深め、大きな集団で過ごす体験を通して新しい生活環境に慣れるよう努力されています。

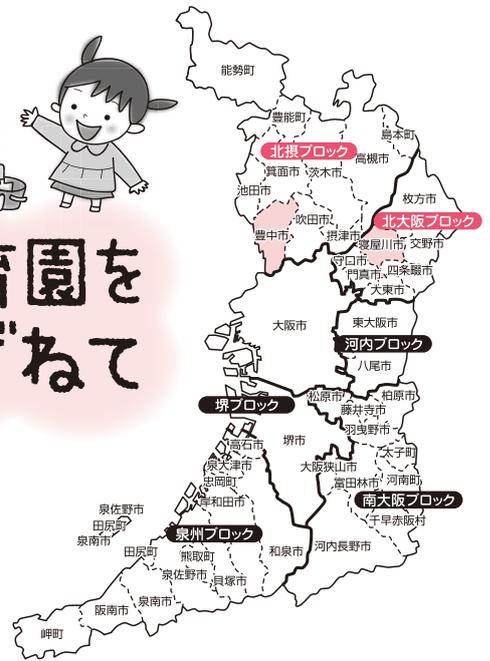
(編集委員 M・H)

ご登り・跳び箱・逆上がり・側転・台上前転など自分の目標を少し上において、それに向かってチャレンジする精神と、成功して「やった！」という達成感を大事にされています。運動会は、個々の練習した成果を発表する場となるそうです。



保育園を たずねて

486



寝 屋川市の成田不動尊から徒歩十数分、静かな団地の中にある定員90人の明德保育園は、「明るく・強く・正しく」を保育理念に掲げて、昭和51年に設立されました。とても広い園庭があり、

さらに羨ましいのは平屋の園舎と講堂です。乳児から5歳児クラスの保育室が、そこに配置された講堂と職員室があり、乳児たちは階段を使わず、また雨の日でも、ほとんどの行事（雨天時の体育



雨天でも遊べる大きな講堂

広いお庭で元気いっぱい 階段のない平屋の園舎と講堂

園児・保育士・コーチ一体
体力づくりで喜び分かち合う

寝屋川市

明德保育園



広いお庭で体力づくり

園児と保育士、コーチが一体となって、皆で支え合い進めてゆく姿と、全員で喜びを分かち合う姿が印象に残ったのだと思います。

(編集委員 J・H)

恵みに感謝・ありがとう 稚児行列に「春が来たね」

ファミリーデーを楽しみ
励ましあうリトミック集会

堺市

あすか保育園



報恩講の稚児行列

3月には、卒園を迎える5歳児が、お寺の行事である報恩講にお稚児さんとして参加。雅楽が演奏される中、保育園の周りを練り歩

「ありがたい」と言える子ども、平和を愛する大人になっ

(編集委員K・K)

歴 史息づく堺の静かな寺町にある社会福祉法人あすか保育園は、昭和48年4月に浄土真宗本願寺派源光寺の境内に開設。今年41年を迎えます。毎日の生活は、朝の礼拝にはじまります。生命の尊さを知り、生かされている喜びをもてる、やさしい思いやりのある心豊かな子どもにも育つようにと願い、保育をされています。



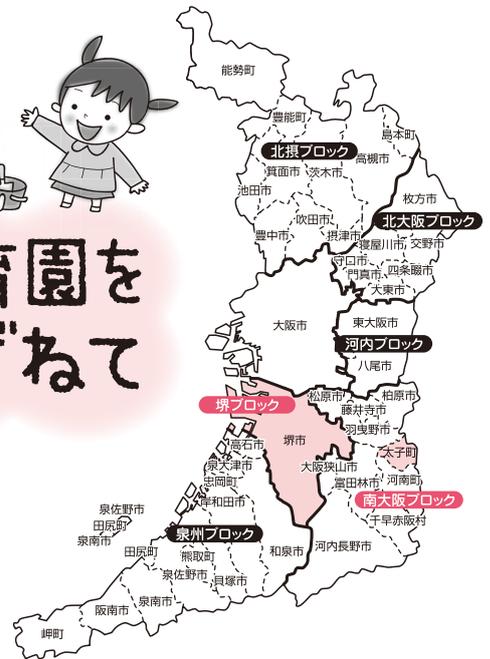
あすかファミリーデーの様子

毎月「あすかファミリーデー」は、幼児がグループに分かれ、コーナー遊びや散歩、給食などを一緒に楽しめます。年長児が年少児を思いやり、お互い助け合う姿は



保育園を たずねて

487



昭

和55年に創設された松の木保育園は定員120人。周辺は山々には特産ぶどうのビニールハウスが多く見られ、自然豊かな環境です。

近隣の住宅街には公園が点在し、天気の良い日は散歩に出かけます。

物に成長に触れ、食することへの感謝の気持ちを養います。

給食では毎日ジャコなどを食べ、からだづくりに配慮されています。

月1度、福祉センターを

訪問し、地域のお年寄りや季節の制作活動や伝承遊びなどで交流されています。



思いっきり体を動かせる園庭

子どもの発想を日々いかし 子どもから出発する保育

食することへの感謝養う
規律と調和の和太鼓で成長

太子町

松の木保育園



和太鼓で地域のイベントにも参加

年長児は、校区内の幼稚園を相互に訪問して一緒に遊ぶ機会を設けるなど、就学前に多くの友だちができる機会を持たれています。「子どもから出発する保育」を基本にした保育に取り組まれ、子どもの発想を日々の保育にいかすように取り組んでおられます。

(編集委員H・M)



リスクマネジメント わが園の取り組み

危機は忘れたころに やってくる

南大阪ブロック 千早赤阪福祉会

千早赤阪福祉会では、リスクマネジメントの取り組みとして、リスクマネジメントコンサルタントとともに、「いかに事故を起こさないか、リスクを発生させないか」などについて検討されています。今回はその取り組みを紹介いたします。

＜ケース1＞SIDSの発生予防のために、記録はつけていると思いますが、毎日のことですから、何となく惰性でチェックしていませんか？あるいはそのチェック項目で本当に事故を防止できますか？果てはチェックをしても赤ちゃんが、次のチェック時間息をしないなかったらどうしますか？

＜ケース2＞園児が怪我をした時の対処はどうしていますか？ 頭部を打った時、病院まで連れて行く基準はありますか？ 後日、後遺症が発症したらどうしますか？

＜ケース3＞トラブルメーカーの職員がいたらどうしますか？ 辞めさせるのも、なかなか難しい世の中ですからね。その職員が原因で、



他の職員がどんどん辞めていったらどうしますか？ 保育園の存続にもかかわる問題です。

リスク管理意識を再セットアップ することが大切

矢継ぎ早にさまざまなリスクの事例を提示された千早赤阪福祉会の向井秋久理事長。昨年2カ園目を開園されて、それまでとは管理運営の方法が大きく変わったことを痛感されていました。

「1カ園の時は常時園に

いられますからね。自分一人でも目が行き届きますが、やはり複数園になってくるとそうはいかない」と向井理事長。

そこでリスクマネジメントコンサルタントの株式会社アイギスと顧問契約を結び、対策をされています。

今、目の前に問題が発生した訳ではないが、これから発生しうる事柄。つまりそれがリスクであり、そのリスクを発生させないことが大切であり、その発生確率を極限にまで下げるため

様々なアンケートや会議でリスクの意識を高める

えました。何かが起こってからの処理をお願いするのは弁護士の仕事ですが、コンサルタントはいかに事故を起こさないか、あるいはいかにクレームを発生させないかを検討し、契約されたそうです。毎月の顧問料は発生しますが、その費用で重大なアクシデントを防ぐことができると考えれば、費用対効果は高いと思います。それに24時間体制で、電話による相談を受け付けてくれます。また、(株)アイギスを通じて、定期的に全国の事故やクレーム問題を代表者である自分自身が目を通すことができます。その都度、リ

スク管理の意識を再セットアップすることに努めています。このことが最も大切であり、最大のリスクマネジメントであると向井理事長は話されました。

園内の取り組みとしては、日々のヒヤリハットを集積し、担当を決めその内容を分析・調査の上、職員会議とは別にリスクマネジメント会議を月1回の割合で開催。常に職員にもリスクを意識させることを心掛けています。また行事ごとに毎回保護者アンケートを取り、改善すべきところは徹底して改善されています。向井理事長自ら常日頃リスクを意識しているからこそ、職員全員にその意識が伝わっていくのを感じました。(編集委員N・M)

スマイルサポーター フォローアップ研修会 開催について

開催ブロック

【南大阪ブロック】

日時▶ 2月19日(水)

14時～16時

会場▶ SAYAKAホール

(大阪狭山市)

日時▶ 2月20日(木)

14時～16時

会場▶ リビエールホール(柏原市)

他ブロックからご参加を希望される方、研修内容を知りたい方は事務局までお問い合わせください。

(☎06-6762-9001)

北摂

新制度の課題に積極姿勢で

一年末研修会

11月29日、「保育の動向—子ども・子育て支援新制度と国の子ども・子育て会議の検討状況」を富山県子ども・子育て支援会議の委員である小島伸也氏（全国保育協議会副会長・はりはら



小島伸也氏

保育園園長）が講義。「子ども・子育て支援新制度—対応が必要な事項や課題等について」（全保協ホームページからダウンロードできま

私たちはどう対応し、情報をいかに入手すべきかについて説明されました。

小島氏は、内閣府のホームページで公開中の子ども・子育て会議の議事資料や動画を紹介。ひとつの会議が1時間以上もありますが、保育関係委員の皆さんの意見や幼稚園や認可外施設など他業者の見解など、省略化されたまとめ資料などには反映されていない内容を知ることができません。提供される情報をただ受け取るだけでなく、新制度



新制度に研究熱心な参加者たち

に明け、積極的に自ら課題に向かっていくことが必要であると教わりました。（山手台保育園N・T）

泉州

「私は女優！」胸を張る

健康ウォーキング研修

1月11日、泉佐野市民総合体育館で開催された武富倭人氏（ウォーキングスタ



レッツ！健康ウォーキング

イリスト）による研修には238人が参加しました。目をつぶり1分間その場で足踏みして、良い姿勢かどうかをチェック。目を開けると最初とは全く違う場所にいる自分を見て、左右の

体の歪みを確認しました。少しの段差や何も無い所でつまずく人はかかと立ちを、靴のかかどがすり減る人はつま先立ちをすると改善される。インナーマッスルを鍛えると体のバランスが良くなり便秘になりにく

旬

インスタントラーメンの進化に脱帽！大事な家庭料理。親の姿勢が子どもの育ち

小学5・6年生で英語を2020年度から正式教科にする文科省が昨年末に発表。3・4年生でも英語を聞く話す時間を週1〜2時間設ける。高校でもレベルアップされ、卒業時に英検2級か準1級程度が目標。中高の先生方も大変。

美味しい日本料理は外国でも大人気！！私などは若い頃、大きな皿にチヨコットのせて、次がなかなか来ないフランス料理より、日本の会席が勝つてると思うとった。なんか島国根性丸出しやけど（笑）。

まま育つ。料理器具のない家もあり、焼き魚をしない家庭もあると聞く。冬休みに卒園児が来て、僕は味噌汁の係をし、その姉がおかずを作る。メインは、鮎（アユ）フィッシュに押し入れが見え

さて、米好きを作るため今旬の冬野菜、旨い漬物作ったろ。もう一つインスタントラーメンの進化に脱帽！私の少年期にこの世に出たインスタントラーメン。お湯をかけて三分間待つのだぞ！だった。先日職員から最近のラーメン事情を聞き及び早速スーパーでそれらしき袋を数種類ゲット。給食の無い土曜日のお昼にいただいた。麺がまる

指導充実のため、高い英語力を有する一般の人が小学校での授業を行えるように特別免許状を新設する。ええことや！一般の方々が学校に入りにくくするのは素晴らしいこと。ますます開かれた学校になる。

この伝統的な和食が国内では危機的状況にあるらしい。食育で大事な家庭料理であるが、時間がない・子どもが嫌いななどの理由で、作らない。また、作れない母もいて、その家庭に育った子は家庭料理を知らない

が、その家庭では母の指示で子どもが動く。手伝いは大切なことであるが、親が作ってあげることも大事。何処の園でもあるが、親の姿勢が子どもの育ち。昔から言われてる、子ども見たら親が分かる！

で生麺のようで、旨いがあるうかうかしてたら、そこら辺りのラーメン屋が負けそう。世界に誇る日本の食文化、海外にはこのラーメンを持っていきなはれ。鍋と水も、荷物になるけど忘れんと。（H・N）



心と体について熱心に聞き入る参加者

「私は女優！」を合言葉に笑顔で胸を張り、体育館を歩き、とても清々しい気持ちで研修を終えました。（東羽衣保育園S・K）